

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	SOU NEXT ジュニア志真志				公表日	2026年 2月 25日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	児童をゲームや遊びに応じて部屋を分けている。 スペースは適切だと感じる。定員を超えないように対策している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	定員に合わせて適宜指導員を確保している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	7	0	必要なものとそうでない物を仕分け、落ち着いて集中できるような環境づくりに努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	日々環境整備をしている。 出勤してすぐと療育終了後に清掃を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	個別対応等が必要になった等、適切に部屋を分けている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	朝礼、終礼等で話し合い、フィードバックを行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	保護者向けにアンケートを実施し、業務改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	朝礼、終礼時に、何かあればその都度意見等を出してもらっている。 CPを中心に面談等を行なってくれています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	第三者評価は行っていないが、年2回内部監査を行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	新入社員研修や既存社員向けの研修等、適宜開催されている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	HP等で支援プログラムが公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	定期的に保護者や関係機関との情報共有の機会を設けている。他職員の意見も取り入れてる。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員からヒヤリングを定期的に行い、その都度検討している。 児発管がスタッフからの意見を聞く場が設けられている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	HUGにてモニタリングや個別支援計画書を確認できるようにしている。 児童に応じて話し合いを行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	社内チャットを用いて、職員間での情報共有を行っている。 昼礼・終礼等で子ども達の行動に対して応用行動分析の考え方をういて話し合いを行なっている。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	問題なく行えている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	日々の課題計画は、職員同士で共有しながら実施している。活動プログラムはスタッフが主体になって組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎月同じ課題にならないように、会議を開いている。利用児童が楽しみながら成長をしていけるように飽きが来ないような工夫や、成長を実感できるような工夫を行っている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	個別活動、集団活動を組み合わせた課題を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	朝礼で1日の療育課題の流れをスタッフ間で相談・確認を行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	毎日終礼時に、情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	日々の様子を記録し、職員間で情報共有を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的にモニタリングを行い児発普を中心に、保護者と内容の照らし合わせを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っているか。	7	0	問題なく行えている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	個別活動、集団活動の際にも、自己決定にて行動・発言できるよう支援している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	必要に応じて他職員の同席や、併用先や教育機関の同席など、多様な意見を取り入れている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	主に教育機関と連携し、情報共有を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	各学校からの情報共有や、保護者と密に連絡を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	保護者を介して就学前の情報収集を行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	対象児童がいれば、情報提供を行う。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	地域から依頼がある場合、機会を設けている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	事業所交流を定期的に行なっている。地域の活動に参加している。	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	機会があれば参加する。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	月に一回保護者と面談し、状況や課題のすり合わせを行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	保護者参加型のイベントを行い、情報提供を行っている。	家族支援の取り組みを充実させていく必要がある。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	特に問題なし。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	特に問題なし。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	特に問題なし。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	送迎時や電話、面談、保護者イベント等を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	定期的に保護者参加のイベントを行い、交流を図っている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	適宜対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	公式LINEやSNS等から情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	特に問題なし。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	言葉だけでなく、視覚的支援や環境調整を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	地域の行事に参加している。	機会があれば、事業所の行事に招待したい。
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	適切に行えている。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	適切に行えている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	情報共有し適切に行えている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	情報共有し適切に行えている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	適切に行えている。	

